

明浜中学校・城川中学校の統合について

明浜中学校：平成 15 年度統合 生徒数 110 名 学級数 4 教職員数 12

明浜東中学校：平成 14 年度 生徒数 71 名（男 35・女 36） 学級数 3 教職員数 9

明浜西中学校：平成 14 年度 生徒数 50 名（男 28・女 22） 学級数 3 教職員数 12

<統合理由>

東中学校・西中学校ともに生徒数の減少により、いずれも 1 学級だけの状態であったため課外活動などに著しい支障をきたしていた。（以前より統合の是非について、たびたび議論されてきた。）

平成 7 年 12 月 15 日、明浜町第三次総合計画（21 創造プラン明浜）策定時に、中学校統合推進計画を策定し、具体的に行動していくことを確認。

統合推進の審議：平成 7 年～平成 11 年 その後、答申書が作成された。

明浜東中

	S61	S62	S63	H元	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14
生徒数	117	126	115	116	106	100	93	85	84	92	89	85	87	85	89	72	71
学級数	4	5	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
教職員数	11	11	11	10	10	10	10	10	11	11	11	10	10	11	10	9	9

明浜西中

	S61	S62	S63	H元	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14
生徒数	112	125	114	95	89	82	84	89	77	70	52	51	59	64	66	57	50
学級数	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
教職員数	10	10	10	10	11	11	13	12	12	12	12	11	11	12	12	12	12

城川中学校：平成 13 年度統合 生徒数 166 名

城川東中学校：平成 12 年度 生徒数 55 名

城川西中学校：平成 12 年度 生徒数 112 名

<統合理由>

生徒数が年々減少していくことが予測され、部活動の運営等においては、相当の制約を受けていた。小規模校の利点として、個々に行き届いたきめ細やかな教育が挙げられるが、反面お互いが切磋琢磨し、たくましい意志力や社会性の養成に欠けるなどの懸念も多くあった。また、両校とも築後、35 年以上を経過しており、木造校舎としての耐用年数を超え、老朽化が進んでいた。

学校を適正規模に統合することによって、学校経営の効率化、施設設備の近代化、教師の指導体制の充実、教育環境や条件の整備等を進め、生徒の持つ諸能力をさらに成長させ、人間性豊かな子どもの育成に資するため。

平成 8 年 3 月：城川町中学校統合検討会にて協議スタート

委員会及び同小委員会で専門的に研究討議が重ねられた結果、地域住民の理解を得て、統合を推進するという総意により、町長、町議会議長及び町教育委員会に意見具申書を提出。

それを受けて、町教育委員会から町長に“早い時期での統合が必要である”旨の意見具申書が提出された。

【学校統合の意義】

- ・社会の変化に対応できる生徒づくり
- ・国際化、情報化に対応できる生徒づくり
- ・町内の同窓意識の芽生えと友情の和の広がり
- ・学校経費の効率化

【統合による教育効果】

- ・学力の開発と能力の伸長（教職員の確保と免許外教科担当の解消）
- ・個性の伸長（部活動等の選択の幅を広げ、生きる力や個性豊かな人間性を養う）
- ・生徒指導の充実強化（教職員の充実強化による教育相談やカウンセリング等指導体制の確立）
- ・学習意欲の向上（良い意味での競争意識、設備・備品等の充実による学習意欲の向上）

城川東中

	S61	S62	S63	H元	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12
生徒数	107	112	135	122	120	108	100	85	80	77	81	70	58	60	55

城川西中

	S61	S62	S63	H元	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12
生徒数	122	124	131	127	130	113	125	126	134	116	123	120	117	112	112